

【目指す子ども像】

- 自ら夢や目標をもつ子ども(Dream)
- 目標達成に向け、継続して挑戦できる子ども(Challenge)
- 経過を振り返り、自信を獲得できる子ども(Confidence)

【学力の実態】

- ◇教研式NRT：国語48.8 算数49.0
(昨年度より、算数は上昇したが、国語はやや低下)
- ◇主体性に欠ける学習態度
- ◇基礎・基本の定着不足と学力の二極化
- ◇自己有用感が低く学力に対しても自信がない。

【目指す教師像】

- 個々の力を伸ばす教師
- 望ましい集団を育む教師
- 信頼され、学び続ける教師
- 協働する教師



今年度のビジョン

「江名っ子」の自信をはぐくみ、学力の向上を図る3本の矢の推進



【第1の矢】

現職教育による
主体的・対話的で深い学びの具現
〈今年度テーマ：話し合い活動の充実〉

- 1 ハイブリッド型授業実践の推進
 - ・日常的な互見授業による授業づくりのアイデアの共有
 - ・一人一授業の実践と全体での振り返りによる授業の質的向上
- 2 教員のニーズや経験に応じた教科からのアプローチ
 - ・研究内容・方法等を自らのニーズや経験によって決定・推進
- 3 外部人材の活用による研修の充実
 - ・ICTサポーターによるICTスキル研修の実施
 - ・学びづくり訪問（授業づくり支援）の活用

【第2の矢】

学力タイムによる
基礎・基本の定着と二極化の解消
〈今年度テーマ：学力タイムの活用と充実〉

- 1 学力タイム実施計画の作成
 - ・NRTの結果や普段の学習の様子から捉えた課題を解決するための各学年の計画の作成
- 2 学力タイムの計画的・継続的実施
 - ・学力タイムでの取組を学期ごとに振り返り、評価・改善
 - ・効果的な取り組みの共有による学校全体の学力タイムの質の向上
 - ・計算コンテストの実施
- 3 複数教員による個に応じた指導の工夫
 - ・習熟度別学習や少人数指導による細やかな指導
 - ・役割を明確にしたTT指導の実施
 - ・学力タイムで見つけたつまずきを家庭学習で補充

【第3の矢】

家庭学習による
自己マネジメント力の育成
〈今年度テーマ：自主学習の習慣化〉

- 1 家庭学習プランの進化
 - ・家庭学習メニューの活用による家庭学習の習慣化と内容の工夫
 - ・タブレット端末の活用
 - ・ノーメディア・イエス読書デーや週末を中心とした家庭での読書推進
- 2 家庭学習の指導充実と価値付け
 - ・担任による指導と家庭での確認・環境作りの役割の明確化
 - ・学校と家庭が協働的に取り組むための資料の配付と周知
- 3 自主学習を称賛する機会の設定
 - ・担任とのコミュニケーションの充実
 - ・自主学習コーナーの定期的な活用と取組の紹介（お便り・放送）

【評価】○全国学力学習状況調査、県学力テスト、NRT、単元末テスト、計算コンテスト
○学校評価アンケート（教職員、保護者、児童、学校評議員）○児童アンケート

○音読・読書カード

